

個別事業(取組)評価				
事業No.	31	施策の柱への位置付け	柱④ 心の教育改革	
事業名称	子どもの読書活動推進総合事業		担当課	生涯学習課
			当初予算額(千円)	26,067
			補正後予算額(千円)	26,033
			決算額(千円)	24,100

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 県内の小中学校では、ほとんどの学校で一斉読書が行われ、全国学力学習状況調査においても、全国と比較して読書好きな子どもが多いという調査結果が出ている。しかしながら、これらのことが読解力の向上や自主的な読書につながっておらず、「読書の質」と「学校外での読書時間」に課題がある。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 「全国学力・学習状況調査」「学校図書館の現状における調査」「県民世論調査」等で現状を踏まえた事業であり、要因を十分検討し、特定している。
		【要因】 ◆ 子どもに本を手渡す「司書や読書ボランティア」など専門性を有する人が少ない。 ◆ 子どもの読書環境の地域間格差が大きく、中山間地域には公立図書館・書店のない町村も多い。 ◆ 第一次高知県子ども読書活動推進計画は、理念先行型計画であったため、具体的な数値目標が示されず、PDCAサイクルに基づく推進が図れていない。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 高知県子ども読書活動推進計画の策定過程で、要因を十分分析したものであり、特定できている。
②	目標(Outcome)	① 公立図書館のない13町村において、県立図書館の物流システムによる図書利用冊数を前年度比で20%増加させる。 ② 市町村の「子ども読書活動推進計画」の策定については、策定市町村数20を目指す。 ③ 読書楽力検定の受検者数は、前年度比20%増を目指す(H22: 2,772人)。 ④ 「親子で本を楽しむ日」を子どもの読書活動支援員配置している15市町村で開催し参加者1,000人以上を目指す(H22: 5ブロック約800人)。 ⑤ 読書ボランティア養成数110人を目指す(H22: 100人)。 ⑥ 子ども司書養成数40人を目指す(H22: 36人)。	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 子どもの読書活動推進のために、平成23年度に達成すべき目標を設定した。
		【検証(比較)方法】 ◆ ① 県立図書館のデータ ◆ ② 市町村への調査 ◆ ③④⑤⑥ 参加者数	エ 目標は達成されたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/>) ① 公立図書館の無い13町村における県立図書館の物流システム利用冊数 ・前年度比18%増 ② 「子どもの読書活動推進計画」策定市町村 ・H23年度3市町が策定 ・策定済市町村は合計14市町村(策定率42.1%)。 ③ H23年度版読書楽力検定受験者数 ・2,698人(前年度比3%減)。 ④ 「親子で本を楽しむ日」開催市町村・参加者数 ・14市町村で911人の参加者(目標達成率91.1%)。 ⑤ 読書ボランティア養成数 ・198人(目標達成率180%) ⑥ H23年度子ども司書養成数 ・37人が参加し、36人が認定(目標達成率90.0%)
③	実施内容(Input・Output)	① 第二次高知県子ども読書活動推進計画の策定と周知をする。 ② 「子ども読書活動推進計画」未策定市町村を訪問し、策定を促す。 ③ 主に中学生を対象に自発的な読書と質の向上のための「読書楽力検定」を実施する。 ④ 公立図書館の無い13町村及び読書環境の厳しい地域のある4市町、計15市町村へ子どもの読書活動支援員を配置する。 ⑤ 子どもの読書活動支援員配置市町村において、「親子で本を楽しむ日」を実施する。 ⑥ 県内5箇所計10回の読書ボランティア養成講座を開催する。 ⑦ 子ども司書養成講座を3市町村に委託する(22単位34時間)。 ⑧ 県内全市町村で行う乳幼児健診時に、読み聞かせ等の実施とともに絵本紹介図書リスト「絵本おはなし・宝箱」を配布する。	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ① 第二次高知県子ども読書活動推進計画は平成23年10月25日策定。平成24年2月末～3月に市町村訪問による周知 ② 「子ども読書活動推進計画」未策定市町村の訪問 ・8月～9月に実施(23市町村) ③ 平成23年度版読書楽力検定を作成 ・県内小中高等学校及び公立図書館等に配布(30,000部) ④ 子どもの読書活動支援員配置 ・15市町村に17人を配置 ⑤ 「親子で本を楽しむ日」の実施 ・14市町村で実施、奈半利町は町民会館改修のため、未開催 ⑥ 読書ボランティア養成講座の実施 ・中芸・嶺北・仁淀川流域・四万十源流・四万十北幡の5ブロックで各2回の連続講座を開催(9月～1月) ⑦ 子ども司書養成講座の実施 ・香美市・須崎市・四万十市に基礎研修、実技実地研修を委託(8月～1月) ⑧ 「絵本おはなし・宝箱」の配付(5,925部) ・委託契約により10月に実施

総合評価と今後の方向	目標達成度 C 「No」を選択した項目 工	【今後の方向】 ◆ 平成24年度施行の第二次高知県子ども読書活動推進計画の推進に向けて、各関係機関と連携して計画の周知を行うとともに、PDCAサイクルによる進捗管理を徹底する。 ◆ 平成23年度で終了予定である子どもの読書活動支援員の継続配置については、既存事業への移行等検討を行う。
	【総合評価】 子どもの読書活動を推進するために、読書環境の整備に取り組んできた。特に読書環境の厳しい15市町村に配置した子どもの読書活動支援員の取組は、県立図書館と連携し、公民館図書室や保幼小中学校に図書資料の提供・紹介が進むなど子どもの読書活動が促進され、読書環境の地域間格差の解消につながっている。	